

まちづくり交付金 フォローアップ報告書

いじゅういん・みょうえんじちく
伊集院・妙円寺地区

平成21年6月

鹿児島県日置市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	低居住水準	%	29.2	0	0	確定 見込み ●	○	あり なし	0	H21年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	適切な間取り・戸数を計画することにより、高齢者、子育て世帯の世帯構成に応じた、良好な住環境を備えた住宅を供給することができた。
指標2	生涯学習講座受講者数	人/年	1,141	1,483	1,247	確定 見込み ●	△	あり ● なし	1,557	H21年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	隣接する施設と相互利用することにより、様々な講座が開催されており、地域、世代間を越えた交流が図られた。
指標3	健康増進施設利用者数	人/年	117,000	164,000	154,779	確定 見込み ●	△	あり ● なし	170,267	H21年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	テニスコート、サッカー場及び多目的広場などの完成によりスポーツ活動の場が広がった。また、屋内練習場(ドーム)により天候に左右されることもなくなり、健康増進を図れた。
指標4	地区人口	人	997	1,050	1,068	確定 見込み ●	○	あり なし	1,097	H21年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市営住宅建設と同時に道路拡幅を行ったため総合的に住環境が整備され人口増となり、地域の活性化が図られるとともに歩行者の快適性及び安全性が向上した。
指標5	地区人口	人	1,873	2,000	2,006	確定 見込み ●	○	あり なし	2,010	H21年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理及び市営住宅建設を合わせて行ったため総合的に住環境や交通の利便性が向上し、人口増となり、地域の活性化が図られるとともに歩行者の快適性及び安全性が向上した。

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1						確定 見込み ●				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2						確定 見込み ●				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み ●				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	高齢者世帯への住宅の貸し渋り解消	・広報による公営住宅の入居募集	高齢者世帯の入居希望者は特に増えなかった。	高齢者世帯の円滑な入居を支援するため、民間賃貸住宅所有者との意見交換等を図る。
	生涯学習講座の充実、施設の有効活用	・チェスト小鶴ドーム杯の各スポーツ大会の実施 ・野球教室の実施	ネーミングライツスポンサーと協力し、参加者計600名を超える各種スポーツ大会等が開催できた。	ネーミングライツスポンサーとの協力体制による各種大会の充実を図る。
	歩行空間の確保	・高齢者学級講座、女性学級講座などの実施 ・徳重土地区画整理事業	受講者を限定したことで、講座内容が充実した。 幅員20～12mの都市計画道路5路線の新設や5～9mの区画道路の整備改善	受講者の拡大を図る。 区画整理地区との接道の整備を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	バリアフリー化された賃貸住宅のストック確保	・パンフレットの配布	リフォーム等のパンフレットを配布し、バリアフリー住宅の意識の啓発を行った。	民間賃貸住宅の既存ストックは、バリアフリー住宅でないものが多数存在し、高齢化社会に向けた早急な対策が必要である。
	生涯学習講座の充実、施設の有効活用及び認知	・テーマを絞り込んだ短期講座の開催 ・合宿、キャンプ等の誘致	受講者を限定した講座を実施するで講座内容を充実できた。 合宿・キャンプ誘致団体はこれまで年間5団体くらいであったが、10団体以上誘致できた。	世代間を超えた講座の開催を図る。 誘致を行なう環境は整っているが、キャンプ等多くなり、施設の管理(グラウンド整備・芝刈り等)がより一層求められる。
	新たな幹線道路網の整備	・幹線道路の整備、公共交通機関の利用拡大対策	幹線道路等の整備により住宅地の通過交通が減少し歩行空間が確保された。	地域間の均衡を図り市全体の整備の必要がある。

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
・だれもが安心して入居できる賃貸住宅の確保	・だれもが安心して入居できる住宅市場構築のため、耐震診断や建替を行う。	21年度	現在入居している方々とのコミュニケーションや計画的な実施計画。
・少子高齢化や人口減少社会が進展するなかでのスポーツ施設の有効活用	・利用者増進に対応できる駐車場の確保	21年度	近隣の県有地や民間の駐車場を借用し、利用者の利便性を図る。
・世代間交流や様々な地域交流が可能となる生涯学習の機会の提供	・生涯学習講座の新たな開催や内容の充実	21年度～	受講者を限定した講座やテーマを絞り込んだ講座の開催
・市民が安心して通行できる市全体での道路空間の創出	・住宅地内への通過交通の流入を排除するための幹線道路網の整備	21年度～	地域格差が生じないよう均衡ある道路網の確立